

## 第1回「浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会」の議事内容について

平成19年9月20日

当社は、原子力発電設備、火力発電設備および水力発電設備における点検の結果、抽出された不適切な事案に対しての再発防止対策について、具体的な行動計画を取りまとめ、本年5月21日に、経済産業省原子力安全・保安院に報告しました。  
(平成19年5月21日公表済み)

このなかで、原子力部門における再発防止対策のうち、「第三者目線の導入」として取り組んでいる「浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会」の第1回委員会を、9月14日に開催しました。  
(平成19年9月14日公表済み)

第1回委員会の議事内容を別紙のとおり取りまとめましたのでお知らせします。  
今後は、いただいたご意見への対応について検討してまいります。

以上

**第1回「浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会」議事要旨****1. 日時**

平成19年9月14日（金） 10:00～14:45

**2. 場所**

浜岡原子力発電所 事務本館

**3. 出席者****○ご意見を聴く会委員（50音順、敬称略）**

天岸 祥光 静岡大学名誉教授

石井 水穂 （前）静岡県労働者福祉協議会 会長

大塚 博巳 志太経済懇話会 会長

鴨川 義郎 （元）浜岡町長

夏目 智子 NPO法人ふぁみりあネット理事長

水谷 洋一 静岡県地球温暖化防止活動推進センター事務局長

**○当社参加者**

水谷 良亮 取締役専務執行役員 浜岡原子力総合事務所長

石原 準一 執行役員 浜岡原子力発電所長

石橋 英雄 執行役員 浜岡地域事務所長

牧戸 秀樹 浜岡原子力発電所 品質保証・検査部長

安田 明彦 浜岡原子力発電所 総務部長

小島 琢夫 浜岡原子力発電所 技術部長

涌永 隆夫 浜岡原子力発電所 発電部長

中沢 博文 浜岡原子力発電所 保修部長

森 不可止 浜岡原子力発電所 保修部専門部長

倉田 千代治 浜岡地域事務所 総括・広報グループ部長

松井 誠 浜岡地域事務所 地域グループ部長

**4. 議題**

○議題1. 「浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会」の規約制定について

○議題2. 発電設備に係る点検結果に基づく再発防止対策の実施状況について

○議題3. 浜岡原子力発電所の運営状況について

○議題4. 新潟県中越沖地震を踏まえた浜岡原子力発電所における対応状況について

○議題5. 運転状況データ公開に係る現状と今後の取り組みについて

**5. 配布資料**

No. 1-1 浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会規約

No. 1-2 発電設備に係る点検結果に基づく再発防止対策の実施状況について

No. 1-3 浜岡原子力発電所の運営状況について

No. 1-4 新潟県中越沖地震を踏まえた浜岡原子力発電所における対応状況について

No. 1-5 運転状況データ公開に係る現状と今後の取り組みについて

## 6. 議 事（当社に対するご意見）

### ○議題1. 「浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会」の規約制定について

当社より浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会規約について説明し委員の承認を得た。

### ○議題2. 発電設備に係る点検結果に基づく再発防止対策の実施状況について

- CAP会合は、不正防止対策の一つとして機能しうる制度であると考えます。CAP会合を運営方針どおりに継続して実施していくことが、発電所の運営にとって大事なことです。今後、運営が運営方針に沿って適切に実施されているかどうか評価を行い、改善を図っていくこと。
- 浜岡原子力発電所は、中部電力社員だけでなく、協力会社も含めた総合力で成り立っている。中部電力社員だけでなく協力会社の方々まで含めて、モチベーションを高め、責任感を持って取り組むようお願いしたい。
- CAP会合の運営方針は、中部電力社員だけでなく協力会社も含めて浸透させるべきである。また、CAP会合において、協力会社からもっと発言できるよう改善を進めていただきたい。
- 平成20年度に行うとしている組織風土の評価について、安全文化に関する評価の指標化も念頭に置いて取り組むことが、不正再発防止に繋がる重要な課題である。
- 中部電力社内の社長直属の組織である経営考査室が、浜岡原子力発電所に対して実施している内部監査に関して、その実態と改善事項について質問があった。（次回委員会において当社より報告することとした。）

### ○議題3. 浜岡原子力発電所の運営状況について

当社より発電所の運営状況について説明した。ご意見は特になかった。

### ○議題4. 新潟県中越沖地震を踏まえた浜岡原子力発電所における対応状況について

- ご意見を聴く会は、発電設備に係る点検結果に基づく再発防止対策の一環として設置されたものだが、新潟県中越沖地震を踏まえた浜岡原子力発電所の対応について、対策の内容や住民に対する情報伝達の方法、内容が適切であるか、この場で議論していきたい。但し、我々は耐震の専門家ではないので、対策の内容を評価するのではなく、住民の立場から見て理解できるものか、納得できるものか、という視点で議論していきたい。
- 新潟県中越沖地震における東京電力柏崎刈羽原子力発電所の変圧器火災については、その映像が延々と流されたことによって、安全上重大な事故であるかのような誤ったイメージが広まったことと思う。これはメディアの問題でもあるかもしれないが、同様のことが起こった場合、中部電力は情報を発信する立場として、適切に情報を発信し混乱が起きることがないようにしていただきたい。

## ○議題5. 運転状況データ公開に係る現状と今後の取り組みについて

- 中部電力のホームページにおいて公開している、運転状況データのモニタリングポストやモニタリングステーションについては、放射線量の単位や自然放射線の変動等に関して、一般の人から見てもっとわかりやすい画面にする必要がある。
- 中部電力のホームページのトップには、情報の受け手にとって、今いちばん関心があることを載せるなど、コンテンツの配置に工夫すべき。今であれば耐震の安全性がいちばんの関心事ではないかと思う。受け手が何を望んでいるか把握し、それを的確に届けることが大事である。また、中部電力のホームページに掲載されているものは、機械や数値データばかりで冷たく感じる。発電所で働いている人間の顔が見えるようにするなど、もっと工夫をお願いしたい。

以 上